

学年	1	教科	英語	科目	英語表現 I	単位数	2
教科書名	Revised POLESTAR English Expression I (数研出版)			副教材名	①Revised POLESTAR English expression I (数研出版) ②高校リード問題集A (教育開発出版) ③FACTBOOK (桐原書店) ④スクランブル英文法・語法 4th Edition (旺文社)		
クラス	芸能			授業担当者	西村 栄蔵		

### I. 目標

- 1 英語表現の基盤である基礎的な英文法の定着を目指す。
- 2 日大基礎学力到達度テストへ向けた実践力を養う。

### II. 授業のねらい

- 1 言語の構造を理解し、英文を読んだり、場面に応じて適切に話したりするのに必要な基礎を固める。
- 2 自分の考えを述べ、相手の意図を正しく理解するコミュニケーション能力を養う。

### III. 授業の進め方

- 1 主に副教材を用い、演習形式を主体とし、理解の定着をはかる。
- 2 単元終了毎に単元テストを実施する。

### IV. 学習上の留意点

授業前には必ず教材の準備をしておく。プリント類はすべて、各自でファイルを用意して保管、あるいはノートに貼る等の工夫をする。

### V. 定期試験

- 1 教科書、副教材の指定範囲から出題する。
  - 1 学期中間試験 : 文型、文の種類
  - 1 学期期末試験 : 基本時制
  - 2 学期中間試験 : 完了時制、助動詞
  - 2 学期期末試験 : 受動態、不定詞
  - 3 学期学年末試験 : 動名詞、分詞、分詞構文

※ 授業の進度により定期試験の試験範囲は変更する場合がある。
- 2 日大基礎学力到達度テストと同じ形式の問題を出題する。
- 3 初見問題として長文を出題し、範囲の文法事項を問う問題を設定する。

## VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物状況、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

## VII. 授業計画

	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一 学 期	4	・文型	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・授業態度</li> <li>・課題提出</li> <li>・単元テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎的な英文を正確に表現することができる。</li> <li>・文型を意識して英文を作ることができる。</li> <li>・時制の使い方を身につけることができる。</li> </ul>
	5	・文の種類		
	6	・時制（現在形・過去形・進行形）		
	7	・時制（未来形）		
二 学 期	9	・時制（完了時制）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・授業態度</li> <li>・課題提出</li> <li>・単元テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・時制の使い方を身につけることができる。</li> <li>・助動詞の意味を理解し、正しく使うことができる。</li> <li>・英語で勧誘したり、提案したりすることができる。</li> <li>・英語で依頼したり、理由を聞き、述べたりすることができる。</li> <li>・英語で義務・必要を述べることができる。</li> <li>・英語で期待・確信を述べることができる。</li> <li>・態の形を理解し、正確に内容を読み取ることができる。</li> <li>・英語で感想を述べたり、尋ねたりすることができる。</li> <li>・英語で願望や目的を述べることができる。</li> </ul>
	10	・助動詞		
	11	・受動態		
	12	・不定詞		
三 学 期	1	・動名詞	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期試験</li> <li>・授業態度</li> <li>・課題提出</li> <li>・単元テスト</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・不定詞と動名詞を正しく使い分けることができる。</li> <li>・分詞の用法を理解し、正しく表現することができる。</li> </ul>
	2	・分詞		
	3	・分詞構文		

※ シラバスの内容については、理解度やその他の都合により変更することもあります。